

福間町の老人保健施設「水光苑」

孔子ゆかりの「楷の木」植樹 太宰府天満宮が寄贈



宗像郡福間町の老人保健施設「水光苑」（津留水城理事長）は二十四日、太宰府市の太宰府天満宮から寄

贈された「楷（かい）の木」の苗木一本を施設前広場に植樹した。写真。楷の木は約二千五百年

前、中国の思想家、孔子の死を悲しんだ高弟が墓所に植えたと伝えられる。四年前に天満宮を訪れた孔子の子孫が種を寄贈。天満宮が育てた苗木を「希望があれば寄贈します」と一般に呼びかけていた。

同施設の入所者たちの間では俳句が盛んで、俳句愛好者から「施設内にもっと

花や緑がほしい」との声が出たため、津留理事長が天満宮に寄贈を依頼した。

この日、施設でリハビリ中の西川多蔵さん（小森三郎さん）がスコップを手に植えた。津留理事長は「植物は沈みがちな入所者の気持ちを和ませてくれるのに効果大です」と話していた。